

No.50経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を受けられる方へ

氏名 @PATIENTNAME

経過	入院日・手術前日		手術当日前	手術当日後	手術後1日目	2日目	3日目～	退院前日	退院日
月日	/		/	/	/	/	/	/	/
治療・処置	リストバンドを装着します。 常用している薬がありましたら、お知らせください。 入院中の内服薬を確認します。 確認のため、薬を飲んだ後の空袋は残しておいてください。	21時に下剤を飲みます。 眠れない時は遠慮なく看護師にお知らせください。	平日、8:30～9:00頃に医師の回診があります。静かにお部屋でお待ちください。						
			手術は : 頃～です。 手術時間は当日の状況により変更になる場合があります。 看護師が声をお掛けするまでお部屋にてお待ち下さい。	酸素マスクを指示の時間までつけます。 手術中から点滴が始まり手術後2日目の夕方まで続きます。 血栓予防のための機械を足につけます。	常用していた薬を再開します。 血栓予防のための機械を朝にはずします。	午後の抗生剤終了後、点滴の針を抜きます。		退院後のお薬のある患者さんは退院時お渡しします。	
検査・測定	身長・体重測定と検温をします。			手術後に検温を必要時行います。	起床時採血をします。1日3回検温をします。	1日2回検温します。	1日1回検温をします。		
食事	昼食から食事ができます。食事の内容・形態・量など変更が可能ですので、ご相談下さい。		21時以降禁食です。 医師から経口補水の許可のある方は翌日指示された時間まで飲水ができます。(別紙参照)	帰宅4時間後から飲水(水かお茶)ができます。	朝から食事が始まります。				
清潔	シャワーに入ってください。				シャワーに入れます。看護師に声を掛けて下さい。				
排泄				手術後尿の管が入ります。手術後3日間程度入った状態が続きます。医師の判断で抜きます。					
活動	特に制限はありませんが、長時間病棟を離れるときは看護師に声を掛けて下さい。			翌朝までベット上安静です。	朝の採血後、歩行が可能となります。				
患者・家族の皆様への説明等	主治医より手術の説明があり、同意書をお渡します。署名し看護師にお渡しください。 看護師より、入院生活・病棟内の説明があります。(入院のご案内にも同様の内容が記載されています。) 手術に必要な物品を確認します。		手術の前に排尿を済ま病室でお待ちください。入れ歯、メガネ、指輪、かつら、ウィッグ、セーフティボックスの鍵などははずしておいて下さい。 寝衣のまま歩いて手術室へ行きます。手術に持参する物品は担当看護師に御確認下さい。	手術後、主治医より説明があります。(後日になる場合もあります。) 手術後、痛みや苦痛があるときは、鎮痛薬の注射か坐薬を準備しています。我慢せずお知らせください。 手術当日の面会制限はありません。 手術中、ご家族の方は4階手術室の家族控え室でお待ちください。	水分は多めにとって下さい。1日1～1.5Lくらいが目安です。 水分を多めにとり、尿を出すことが、排尿時痛・血尿の改善、感染予防に有効です。	尿の管が抜けた後、排尿量と尿色をチェックするため蓄尿して頂きます。組織検査結果確認後(手術後6日目頃)、主治医より手術後の治療方針について説明があります。	退院後の日常生活の注意事項を説明します。	退院の手続きと、次回外来の説明をしますので、9時以降にナースステーションにお越しください。 入院のご案内の中にあるアンケートにご協力ください。	
準備するもの ・寝衣 ・テープ式紙おむつ1枚 ・必要時、リハビリパンツ・尿取りパットをご用意ください。									

手術後の経過は、個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ねください。

※この用紙は入院時にご持参ください。